

KiKiの広場

2015年 9月 1日

cafe NO.59
KiKi



今月の25日で丸5年になる「ヒストリア字部」と「cafe KiKi」です。まだ5年、されど5年・・・。
本棚の絵本やジャスミンのアーチを見ると、短いけれどしっかり歩んできた歴史を感じます。

この春新メンバーでスタートしました。みんなそれぞれの仕事に慣れてきましたが、感謝の気持ちを忘れずにより良い仕事ができるよう、知恵を出し合って頑張っていきたいと思います。どうぞ、よろしくお祈りします。

9月の予定

8日(火)	休館日
毎日曜日	定休日



「今月のケーキ」・・・「マロンケーキ」350円

マロンクリームをカラメル風味のスポンジではさんで、クラッシュマロンとマロンペーストをトッピングした、毎年人気のケーキです。



今月のお気に入り・・・「お月さまの絵本」

～「たくさんのお月さま」「おつきみうさぎ」「ぼんぼん山のお月さま」「つきがみていたはなし」「おつきさんどうしたの」など



中川千尋さん訳の「たくさんのお月さま」は、最初は1949年に光吉夏弥さん訳で紹介された古典絵本です。ちょっぴりわがままだけどとっても愛らしいお姫さまが欲しかったもの、それはお月さま。大騒ぎする周りの大人たちを後目に、お姫さまが何でもないように淡々と問題を解決してしまう、なんとも痛快で楽しいお話です。綿菓子のようなフワフワした優しい絵も素敵です。十五夜に読みたいのは、「おつきみうさぎ」。子どもたちがすすきの中で見つけたうさぎは、実は月から落っこちてしまったうさぎ。子どもたちが夜空に浮かぶまんまるお月さま見上げていると、最初はいなかったうさぎの姿が出てきます。はてさて、あのうさぎはどんな方法で月に帰って行ったのでしょうか。それは意外な方法なんですよ。見てのお楽しみ！



今月の本棚・・・「美味しい絵本」

～「あれこれたまご」「がまんのケーキ」「さつまのおいも」「11ぴきのねことあほうどり」「おなべおなべにえたかな」など～



「なあ、しとった？たまごはみんなおぎょうぎええねん。いっつもせいれつ。いっつもせいぎ。とがったおしりがいつもした。」で始まる「あれこれたまご」は、関西弁が軽妙なとっても楽しい絵本です。卵1つ1つに表情があって、いろいろな料理に変身するのを、卵本人が「しゃべり」で紹介してくれます。大好きなかぐいひろしさん作の「がまんのケーキ」は、鯉のこいたろうさんと亀のかめぞうさんが、ケーキを前によだれを出しながらがまんして、カエルのけろこさんを待つ様子が描かれています。果たして2人(?)は、誘惑に勝てるのでしょうか？



ほっとフレイク

台風一過(?)・・・8月末の台風、風が凄かったですね。外に出ることさえ危ぶまれる為、ヒストリア字部も臨時休館となりました。急な決定でご迷惑をおかけしてしまった方もいらっしやと思います。大変申し訳ありませんでした。また、ご協力ありがとうございました。



台風が過ぎ去った翌日、ある程度覚悟はしていましたが、駐車場や館の前の歩道を見てびっくり！プラタナスの大きな枝と落ち葉が散乱していました。その量がハンパではなく・・・正直途方に暮れるとは、このことでしょうか。片付けに時間はかかりましたが、他に大きな被害がなかったことに感謝です。かわいそうなのは、プラタナスです。せっかく大きく育った枝がかなり折れ、実や葉もたくさん落ちていました。

ちなみに、和名は「スズカケノキ」。明治の初め、丸い実が、山伏の着る篠懸衣についている球状の飾りに似ているところから篠懸木と命名されたそうですが、いつの間にか実が鈴なりにつくという意味や、楽器の鈴に似ているところから鈴懸木とか鈴掛木と書くようになったそうです。山伏が出てくるとは思いませんでした。!(^^)!